

令和4年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会

日時：令和4年11月22日（火）

15:30～17:30

場所：国営海の中道海浜公園事務所

議事次第

1. 開会

2. 議題

1) 前回協議会での議題、意見等に関する取組状況

- ①上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告・・・・・・・・・・資料1
- ②Park-PFIにおける開業後の広報活動・・・・・・・・・・資料2
- ③各主体の取り組み状況達成具合の見える化検討状況・・・・・・・・資料3

2) 各主体における今年度の取組状況・・・・・・・・・・資料4

3. 閉会

以上

○配付資料

配席図、規約、参加者名簿、委員名簿、本協議会の進め方

資料1 上半期の海の中道海浜公園の利用者数の報告

資料2 P-PFIにおける開業後の広報活動

資料3 各主体の取り組み状況達成具合の見える化検討状況（委員限り）

資料4 4つの将来像の取組 フォローアップ様式

参考資料1 令和4年度 第一回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 議事要旨

参考資料2 海の中道管理センター資料

参考資料3 マリンワールド海の中道資料

参考資料4 ザ・ルイガンズ資料

参考資料5 海の中道マリーナ&テニス資料

参考資料6 青少年海の家資料

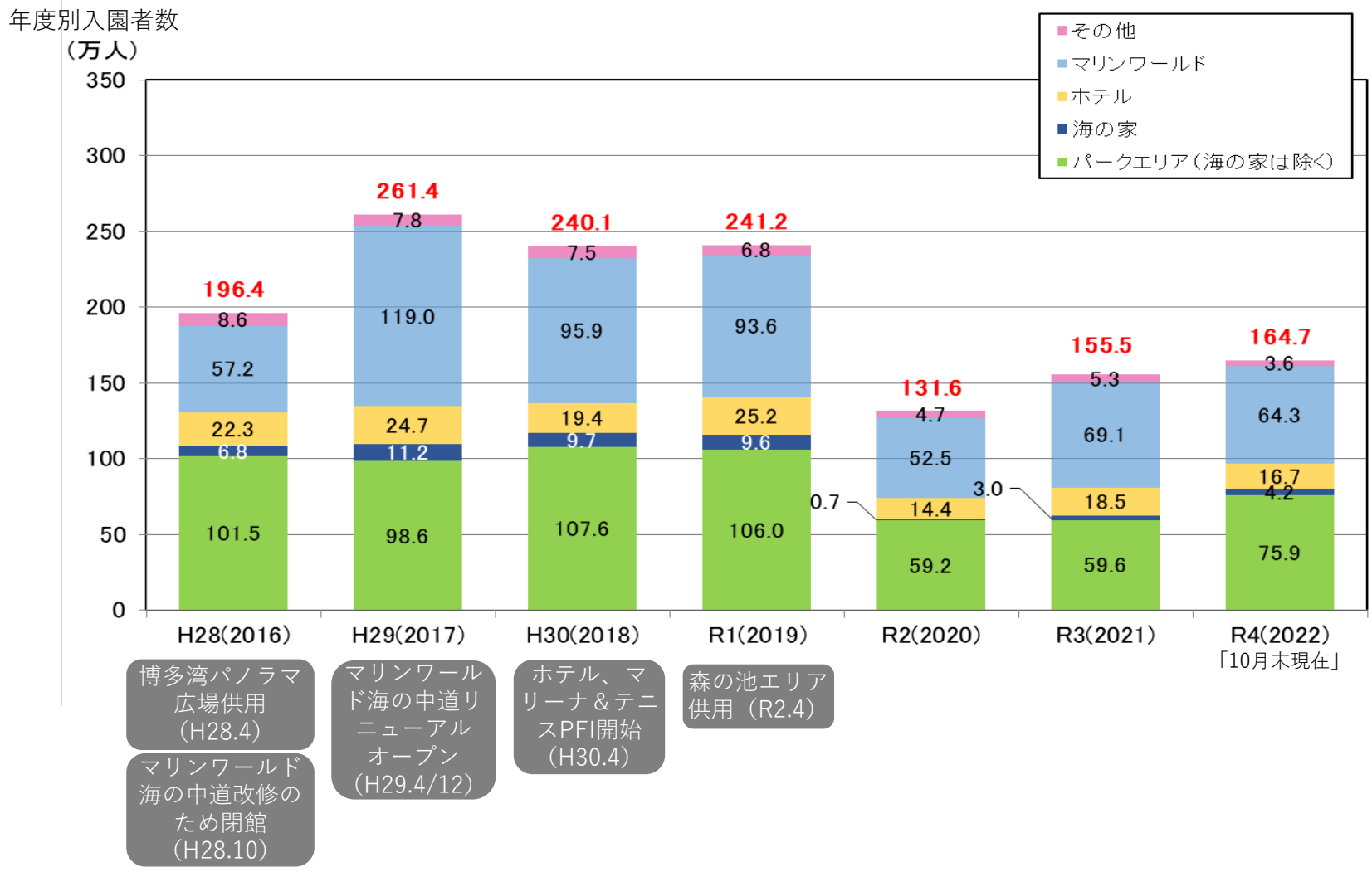
参考資料7 海の中道パークツーリズム資料

参考資料8 国営海の中道海浜公園事務所資料

上半期の海の中道海浜公園の 利用者数の報告

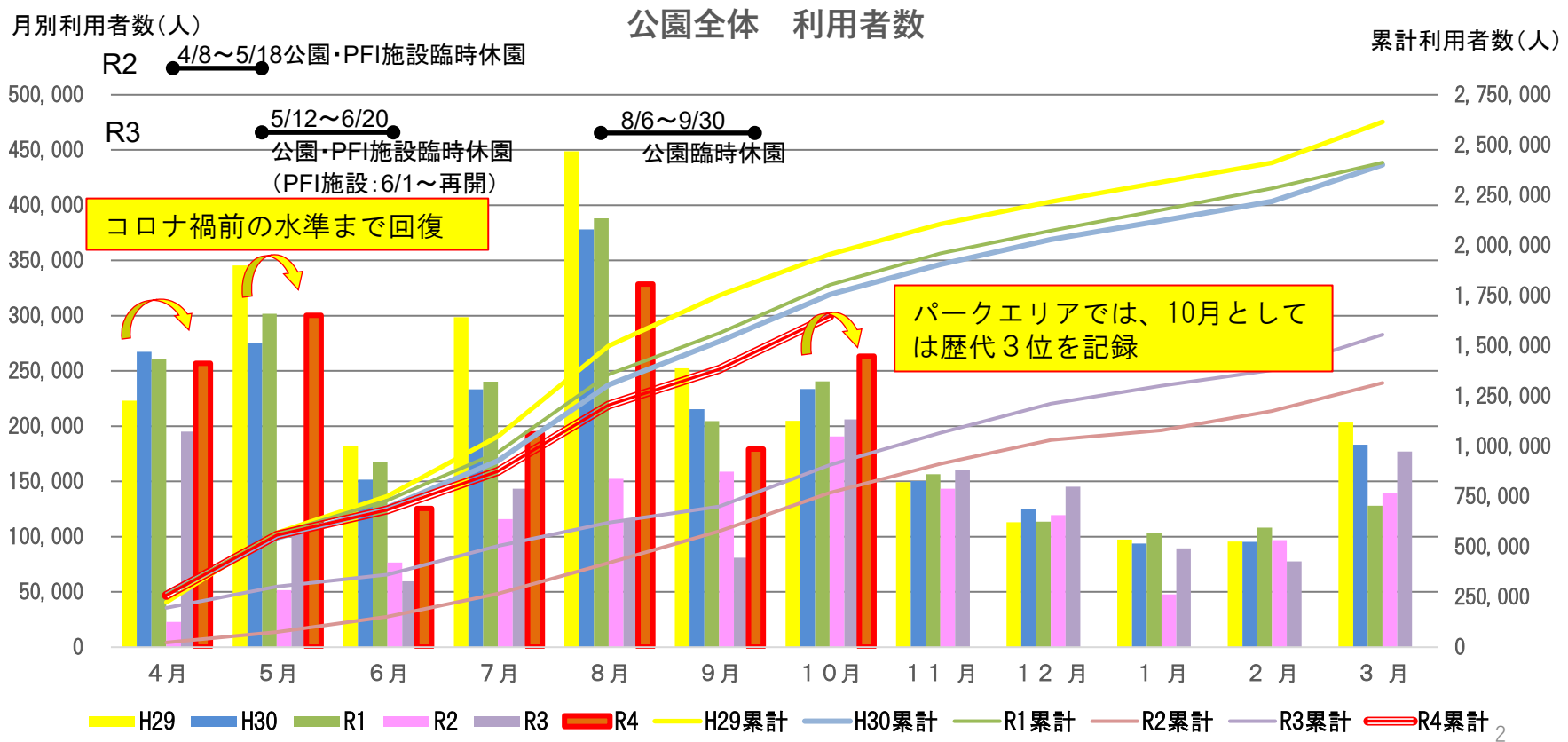
直近 7 年間の入園者数の推移

- 平成28年度から令和1年度までは、200～250万人前後で推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉園等により令和2年度は132万人、令和3年度は約156万人と大幅に減少。
- 令和4年度は、10月末までに約165万人が入園。コロナ前の水準近くまで回復傾向。



平成29年度～令和4年10月末までの月別利用者数

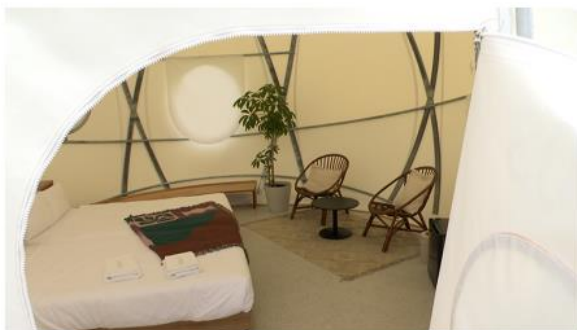
- 令和2年度の公園の利用者数は約132万人（前年の約55%）
- 令和3年度は、4月は例年に近い入園者数となったが、5月12日から6月20日まで福岡県が緊急事態宣言の対象となったため臨時休園。
7月は前年度より入園者数が増えたが、休園。
- ◎令和3年度の公園の利用者数は約156万人（R2の約118%、H29-R1平均値の約63%
8月6日から9月30日まで福岡県が緊急事態宣言の対象となったため臨時休園）
- ◎令和4年度4・5月はコロナ禍前の水準を記録するなど、この半年間は利用者数が回復傾向。
- ◎令和4年度10月はパークエリアでは歴代3位の入園者数を記録。





<https://www.tv-tokyo.co.jp/fukeinoashiato/backnumber/index.html?trgt=20221007>

事例 2：TVQ九州放送 グっ！ジョブ



2022年8月13日

民間会社&地元の知恵がワクワクを生み出す！ 新たな「街の公園」のカタチ

全国の「公園」の姿が変わり始めている。数地内に民間の商業施設が次々にオープン、ここ福岡でも飲食店やレジャー施設、中には宿泊施設をも備えた公園が登場した。“ビジネスチャンスの追求”を超えた、民間資本による新たなにぎわいとまちづくりの最新局面に迫る！

https://www.tvq.co.jp/o_j/goodjob/archives/detail.php?n=202208131500

事例 3 : UMAGA 週末グルメドライブ Vol.11

週末グルメドライブVol.11 Presented by Audi福岡東

福岡市のイーストコースト、志賀島・海の中道へ

公開日2022.08.05 最終更新日2022.08.15 ライター毛利智子

カメラマン毛利智子



今回ご紹介の志賀島・海の中道オススメスポット

- ①志賀島ドッグ
- ②シー・ドラグーン
- ③INN THE PARK 福岡（イン・ザ・パーク）
- ④UMINAKA ADVENTURE（ウミナカ・アドベンチャー）
- ⑤ひらぎさんのおいも

九州初上陸の巨大アスレチックタワー「シー・ドラグーン」へ！



「INN THE PARK 福岡」の本格フレンチを



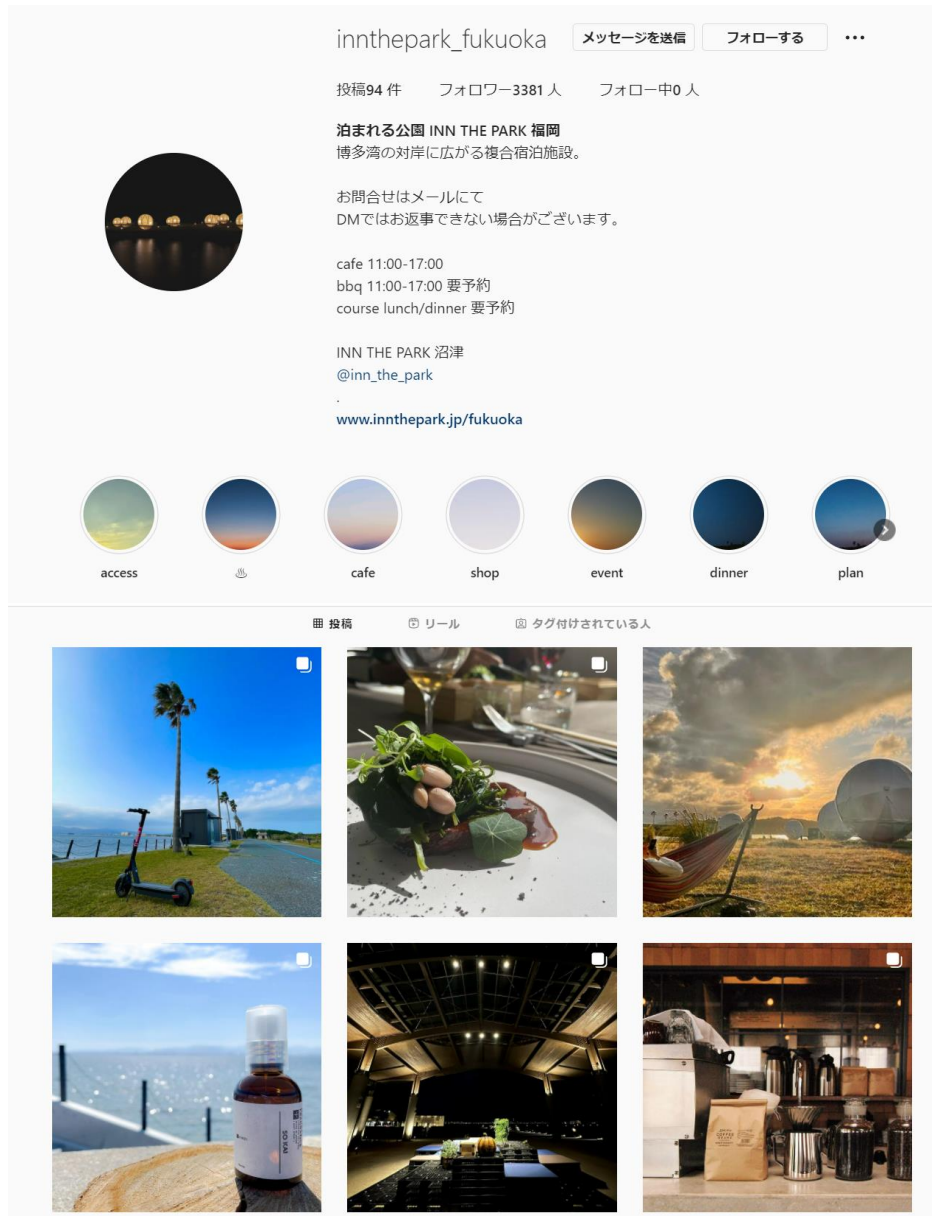
もっともっと遊びたいなら「UMINAKA ADVENTURE」へ



※施設より提供

<https://umaga.net/shop/24043/>

事例 4：各種SNSアカウント（Instagram）



https://www.instagram.com/innthepark_fukuoka/
https://www.instagram.com/seadragoon_fuk/

○ 4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道管理センター】※令和4年度取組状況（中間報告）

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）										
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	○マリーナ連携「カヤック体験／クルージング体験」（6月／10月） ○マリンワールド連携「水辺の生き物観察会」（7月） ○P-PFI連携「福岡市ワーケーション事業」（7月～） ○海の家連携「玄海灘松原ミーティング」（11月）											
	公園の外との連携強化	●公園、志賀島や西戸崎等の地域関係者がオールうみなかで地域の魅力を発信する「（仮称）うみなかたび推進会議」を設置し、ポータルサイトなどによりエリアで一体となった情報発信を行う。	“うみなかたび”ポータルサイト設置 海の中道エリア一体となった情報受発信	●2021年度（R3年度）～ ポータルサイト開設し、公園全体の魅力を発信	○季節のおすすめ情報や観光情報等を適宜更新（年2回）											
			「オールうみなか」でのプロモーション主導（うみなかたびプロデュース） 「うみなかたび推進会議」開催	●2020年度（R2年度）～ 会議開催を通じ、公園施設や地域一体となった旅のプランを企画し、ポータルサイト等で情報発信	○福岡市ワーケーション事業への参画（7月～） ○「全国都市緑化フェアくまもと」キャンペーン出展（4月） ○ふくおかオーブントップパス“うみなか＆志賀島 まるっと満喫ツアー”（8月・10月）											
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	食の魅力の充実	●地産地消、食育等などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	四季折々のイベントの魅力を高める多様な食体験の充実	●2020年度（R2年度）～ レストランにてフードフェア実施 ●2020年度（R2年度）～ 秋イベントにてアジアメニュー ●2020年度（R2年度）～ 冬イベントにてホットメニュー提供 ●2022年度（R4年度）～ 春イベントにてコーヒーフェスタ実施	○夏・冬季にレストランにてフードフェア開催 ○春季イベントにて「コーヒーで春の公園を巡ろう！」実施 ○冬季イベントにてホットメニュー提供	</										

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）										
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																
海の中道固有の白砂青松の 景観の保全、再生	マツ林育成	●玄界灘側のD地区未供用区域のマツの植栽等を推進する。 ●樹幹注入等の松くい虫対策や植林箇所の密度管理等、マツ林の育成保全の取組を継続して実施する。	若年マツの保護育成、間伐、松枯れの予防保全	●市民共働による保全作業と計画的なマツクイムシ防除を実施	○市民共働による保全作業（年5回程度） ○計画的なマツクイムシ防除を実施（適宜）											
	多様な主体との協働	●公園内外のマツ林育成保全のため、マツ林の保全活動に取り組む自治体、市民団体等との協働、情報共有等を推進する。 ●江戸時代から続くクロマツ林の植林の取組みを紹介するガイドツアーやボランティアによる植栽、海岸清掃などを通じて市民と協働で白砂青松の景観を保全する。	「玄海灘松原ミーティング」の開催	●2022年度（R4年度） 松林の保全活動に取り組む団体等に呼びかけ開催。活動課題や良好事例の情報共有及び今後の活動にフィードバック	○青少年海の家を主会場に、野外フィールド活動も開催（11月）											
教育施設、環境学習フィールドとして活用	人材育成	●環境教育の指導者を養成する講習会の開催など、人材育成の取組みを推進する。	「環境教育指導者養成講習会」の開催	●2020～2021年度（R2～3年度） 一般募集及び公園関係機関スタッフ対象に開催 ●2022年度（R4年度） 九州JAZA会員の動物園・水族館スタッフ対象に開催	○九州JAZA会員の動物園・水族館スタッフ対象に開催（3月）											
	環境学習	●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	新たな環境学習プログラムの実施（水辺の生き物観察体験、プロジェクトワイルドin森の池等）	●2020年度（R2年度）～ 新規開園した「森の池」を活用したプログラム提供 ●2020年度（R2年度）～ マリンワールドと連携した保全活動の普及啓発イベント実施	○森の池の自然を活用したワークショップを開催（8月） ○マリンワールドと連携し「水辺の生き物観察体験」を開催（11月）											
			「森の池市民協働運営協議会」による運営管理のコーディネート	●2020年度(R2年度)～ 協議会参画団体の協力を得た「森の池」の利活用プログラムの提供	○協議会参画団体の協力を得た「森の池」の利活用プログラムの提供（8月）											
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	ビーチラン、ビーチヨガ	●2021年度(R3年度)～ 玄界灘の海岸線を活用したイベントを開催	○玄界灘の海岸線を活用したヨガを開催（7月）											
			サンシャインプールでの水泳教室、水中エクササイズ等プログラムの実施	●2021年度(R3年度)～ 夏季に各プログラムを実施	○地元専門学校と連携し、水泳教室や水中エクササイズを実施											
			「サイクルツーリズム」により公園と地域をつなぐ観光振興を主導	●2020年度(R2年度)～ 地域民間事業者や福岡市と連携し自転車観光促進等を促進。渡船場より園外レンタサイクルを実施	○志賀島、雁ノ巣、P-PFI事業のレンタサイクル事業者や福岡市、地域の事業者等と連携した「サイクルツーリズム」の展開 ○電動スポーツバイクの貸出をスタート（9月）											
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	花を愛でながら食事が楽しめる花カフェの設置	●2020年度(R2年度)～ 春秋を主に季節売店の営業（花カフェ） ●テーブルセット等配置し休憩スペースを創出	○春・秋季を主に季節売店の営業（花カフェ）周辺にテーブルセット等を配置した休憩スペースを創出											
			ハーモニーとコントラストによる「花の丘」の再デザイン	●春: 桜とネモフィラの色彩が織り成す見所づくり ●秋: 秋空と紅葉コキアによる花風景の演出	○春: ネモフィラ ○秋: コスモス（コキアは虹・彩の花壇）											
			市民協働による桜並木の創出	●桜の園の魅力向上と老朽化した桜並木の再生を目標に、市民協働で補植を実施	○市民協働で補植を実施（3月）											
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応			○春・秋季を主に季節売店の営業（花カフェ）										

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
市民参加の場の充実	市民参加	●市民発案のプログラム、地域の方がインストラクター・講師等となったプログラムなど、市民が主体的に提供するプログラムを充実する。	市民とともに創り上げるプログラム（パークフィットネス）	●2021年度(R3年度)～地域のインストラクターが講師となりヨガ教室などを開催	○地域インストラクター講師のノルディックウォーク教室（4月・2月）										
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かした企業研修の場としての公園利用の推進	●2021、2022年度（R3、4年度）に公園を活用した企業研修メニューの開発、試行を実施	○公園を活用した企業研修メニュー開発、試行を実施（7月）										
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	すべての子どもが一緒に楽しめるインクルーシブ・プレイグラウンドの整備	●2022年度(R4年度)以降、カフェリニューアル後に収益の一部を還元し、大芝生広場レストハウス周辺に遊び場を開設	○遊び場試行（4～5月） ○カフェを活かしたイベント開催（5月・11月） ○障がいのある子どもたちを対象としたワークショップ開催（2月）										
			大芝生広場レストハウス内売店みんなで創り・育む「インクルーシブ・カフェ」にリニューアル	●2021年度(R3年度) 設計 冬季に改修工事着工 ●2022年度(R4年度) 春季 リニューアルオープン	○大芝生広場レストハウス内売店をPlay Caféにリニューアル 手作りメニューやスイーツの充実 ○デッキスペースを新設し、大芝生や花修景を望みながら寛げるスペースを創出										
			障がいのある方も安心して楽しめる「動物ふれあい出張プログラム」の実施	●2021年度(R3年度)～ 大芝生広場レストハウス周辺にふれあいコーナーを設置し、動物スタッフが側面支援	○「動物ふれあい出張プログラム」をPlay Café周辺にて実施（春・秋）										
			動物の森において、障がい者の心身の活性化に役立つケアプログラムを提供	●2020年度(R2年度)～ 青少年海の家利用団体等を対象に開催	○作成した「障がい者ケアプログラム実践集」をもとに海の家利用団体等を対象に実施										
	園内移動	●公園全体の交通ネットワークの再整理を行った上で、サイクリングコースやバスルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動できる新たなモビリティの導入などにより、園内の回遊性を高める。	広い公園を“スムーズに楽しく”移動できるサービス向上（デマンド交通社会実験、パーソナルモビリティ 等）	●2020～2021年度（R2～3年度） パーソナルモビリティ活用の実証実験、及び既存園内交通の課題抽出 ●2022年度(R4年度)～ 既存園内交通に代わるサービス導入	○パーソナルモビリティ「電動キックボード」を活用した、新たな園内移動事業を本格的に運用開始 ○新たに港サイクリングセンターからも貸出開始（10月）										

○4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【マリンワールドPFI（株）】※令和4年度取組状況（中間報告）

：全主体による取組

[illegible]

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園															
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	→ドルフィンセレモニー 実施中 2022年4月～9月／1組実施										
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園															
地域活性化	地域活性化	地元と連携し、収穫体験、釣り体験等のアクティビティ、志賀島と連携したサイクルツーリズムなど、公園を起点とした地域観光への誘導を推進する。 地域との連携によるイベントの開催などにより、公園と地域の集客施設等との相互利用を促進する。	地域の施設や地元業者と連携する。（地元陶芸、野菜収穫＆ランチ）	●2021年度（R3年度）春頃から西戸崎の陶芸工房と連携した陶芸教室を開催 ●志賀島の契約農園で野菜等を収穫し、その食材を使ったランチを提供するプランを開始	→2021年9月～→プラン化は行っているが実施無し。 →実施中										
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	新たな（健康）レクリエーションの導入（サップネス）	●2021年度(R3年度)春頃からサップネスを実施 →リトリートプラン（体に優しいヴィーガンフードをはじめ、ヨガ・スパトリートメント・サウナのアクティビティを体験）	→2021年9月～→緊急事態宣言・福岡蔓延防止などの関係にて2022年度での秋頃計画変更。サップネス講師のスケジュール調整が厳しい為、変更。 →2022年9月～予約開始／10月2組・11月1組実施予定										
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		→各機関と連携し、感染症対策の徹底を図る										

○ 4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別） 【（株）海の中道リゾート】 ※令和4年度取組状況（中間報告）

【マリーナ】						：全主体による取組									
将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像１：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園															
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●ホテル利用者やP-PFIに来園された方々にマリンスポーツを提供できるよう連携する ●園内機関との新しい連携を作る	●ルイガンス様、海の中道パーク・ツーリズム共同事業体様への情報共有を行っている。 ●「九州UMIアカデミー」の開催に当たり、各機関からご協力・ご協賛をいただいている。										
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	一般に開かれたマリーナ運営（クルーズ体験、ヨット教室、公園利用者にも利用しやすく）	●今年度よりマリんフィットネスの提供を行う（ビーチヨガ等） ●今年度より新しいマリんスポーツメニューの提供を行う（水上オートバイ体験、ビスケット体験、釣り体験、ダイビング体験） ●公園利用者も利用しやすいように広報の連携を強化	●マリんフィットネスにつき6月より運用を開始したものの、苦戦している。9月以降はイベント形式で行っていくようにしている。 ●マリんスポーツメニューの充実を図ったところ、少しずつ利用回数が増えてきている（特にバナナボート・ウェイクボード）。										
将来像３：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応	●感染予防対策の徹底	●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起										
将来像４：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	ブルーシーフード教室、ディンギーヨット教室の開催	●ブルーシーフード教室、ヨット教室を開催。	●関係者との協議継続										

【テニス】

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）											
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)		
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																	
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	●園内施設の利用者に対する割引を検討していく。												
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																	
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	幅広い年齢層を対象としたスクールや大会の開催、健康クリニック付き高齢者テニス	●幅広い年齢層を対象としたスクールや大会を継続的に開催 ●2022年度(R4年度)に健康クリニック付高齢者テニスをイベントとして開催（コロナ感染拡大防止の観点から一年延期している）	●9月に年齢が高めの方（50代から70代）を対象としたテニスイベントを2回開催した。												
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応	●感染予防対策の徹底	●施設内の消毒（特に人の手が触れる箇所） ●施設内の換気 ●消毒の設置 ●ポスター等での注意喚起 ●ログハウスに音響やモニターを設置し、憩いの場として利用者に開放している。また空調も増設し、環境を整えた。												
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園																	
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	障がい者がテニスを楽しめるコート整備	●車いすでも利用できるハードコートまでの動線を障害者でも利用しやすいように整備し、障がい者テニス大会を2023年度（R5年度）に誘致できるよう準備を進める（コロナ感染拡大防止の観点から一年延期している）	●飯塚の車椅子テニス大会のボランティアスタッフにヒアリングを行ったところ、車いすテニス大会を行うには大掛かりな準備と多くの協力者、スポンサーが必要だということが分かり、すぐに実現することが難しいという判断をしている。 ●車いすテニスの大谷桃子プロのコーチに連絡しており、施設の動画等を見てもらう等、引続き大会開催に向けた協議を行う。												

○ 4 つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【青少年海の家】 ※令和 4 年度取組状況（中間報告）										：全主体による取組									
将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）													
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)				
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																			
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（それいけ海の冒険団、カッター教室 等	●公園機関との連携促進 ParkーPFI・レイガンズ ●SNS（FB・Instagram）を活用した広報促進 動画の活用・フォロワー数の増加 ●ニュースリリースの積極発信	●公園機関との連携促進 雁レクフェスタ出展 11/5～6 玄海松原サミット開催 11/12～13 ●SNS（FB・Instagram）を活用した広報促進 動画のアップ・フォロワー数の増加 フォロワー数 FB467 インスタ260														
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																			
教育施設、環境学習フィールドとして活用	環境学習	●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	自然観察活動（動植物観察、貝殻採取、ビーチクリーンアップ、天体観察 等）	●新規主催事業の実施 カヌー・カヤック教室の実施 ●連携主催事業における環境学習の推進 地引網体験の実施 ●行政・団体と連携した取り組み ラブアースクリーンアップ	●新規主催事業の実施 カヌー・カヤック教室の実施計画 3月 ●連携主催事業における環境学習の推進 マリンワールドとの連携 それいけ！海の冒険団 10/22～23 ●行政・団体と連携した取り組み ラブアースクリーンアップ 6/12実施														
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園																			
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応。	●感染症対策の継続 利用者・職員の安全を守る ●海の家魅力向上プロジェクト推進 職員のアイデアをカタチに ●あたりまえの実践 挨拶・試され・臨機応変・マナー・縁	●感染症対策の継続 利用者・職員の安全を守る 抗原検査キッド活用による対策 ●海の家魅力向上プロジェクト推進 SDGsプロジェクトチーム発足 ●あたりまえの実践 キックオフにて職員へ共有														
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園																			
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	野外活動機会の積極提供 様々な機会を通して、子どもたちの教育に関わる。	●他の機関との連携による活動促進 活動プログラム、出張自然教室・ブース出展・夢授業など地域や団体と連携したプログラムを提供	●他の機関との連携による活動促進 ふくおかFUNから水中写真を寄贈 夢授業 福岡キャリア教育研究会主催 7/8 福岡市立青葉中学校 9/2 福岡市立箱崎清松中学校 9/10 福岡市立福岡女子高校 HAKATA KIDS EXPO出展 10/1 環境フェスティバルふくおか出展														

○ 4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【海の中道パーク・ツーリズム共同事業体】※令和4年度取組状況（中間報告）

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）										
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園																
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●管理センターをはじめとした各関係機関と連携したイベントの実施	5/21, 22に管理センターと両主催によるマルシェイベントの実施（NEW WEEKEND INNTHEPARK） →5/21(土)は1000人、5/22(日)は2000人ほどが光と風の広場の入園ゲートを通った。出店テナントの殆どがお昼過ぎに売り切れている状態だった。 →7/23～8/28の期間の土日祝日計14日間シー・ドラグーン前にて縁日を実施 →7/30, 31子供向けのワークショップ開催											
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	多様なニーズへの対応	●既にファミリー層の利用者が多いC地区はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開始されるB地区は大人向けエリアとして整備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴等に応じた各エリアの差別化を一層推進し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供する。 ●日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアルする。	Park-PFI事業の開始、運営（球体テント、立体アスレチック施設の整備）	●事業者、関係機関と連携した宿泊パック等の充実 （宿泊＋アスレチック、宿泊＋各アクティビティ、宿泊＋自然観察体験等）	事業者、関係機関と連携した宿泊パック等の充実（宿泊＋アスレチック、宿泊＋各アクティビティ、宿泊＋自然観察体験等） →宿泊者限定のプランとして、サーフィンやファミリーフィッシングプランを常設している。また、9/17～10/31までの期間インザパーク宿泊者限定でのホースライディングプランを実施											
	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	博多湾、玄界灘海浜部でのアクティビティ導入（SUP、カヤック、ホースライディング等）	●海浜部を活用したSUP、カヤックを実施し公園の魅力向上に寄与する。	4/6～博多湾を活用したSUP、カヤック、クルージング等、海のパログラムの受付を開始 →SUPに関しては親子で楽しめるものや犬と楽しめるものなど様々なプランを提示した											
	食の魅力の充実	●地産地消、食育等などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	地域と連携したマルシェ等のイベントの開催	●定期的に地域イベントを開催することで海中地域の魅力を発信する。	5/21, 22に管理センターと両主催によるマルシェイベントの実施（NEW WEEKEND INNTHEPARK） →9/23, 24に志賀島にある勝山商店さんとのポップアップイベントを開催（干物をはじめとした地元食材の販売・レストランでの限定メニューの提供）											
			収穫体験や食育、地産地消等の要素を加え新たな体験型アクティビティとしてのBBQサービス提供	●周辺地域と連携し、地場産品を利用した飲食・体験価値を提供する。	5月下旬よりBBQサービスの受付を開始 →5月下旬よりBBQプランの提供開始をしたが天候によるものの土日祝日を中心に多くの方より好評をいただいた											
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園																
教育施設、環境学習フィールドとして活用	環境学習	●森の池、動物の森、マリンワールド海の中道など園内の多様な資源を活かすとともに、それらの連携により、多様で、学習効果の高いプログラムを提供する。	共生の森・森の池での自然観察	●観察プログラムを通じ、海中地域や海浜公園特有の自然環境への理解を深める。	→10/10管理センター主催のイベント「森の池いきものさんぽ～秋編～」を宿泊者の早朝ブラグラムとして案内 →10/16 管理センターと連携したイベント「実りの秋を味わおう」を実施											

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像 3：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	パノラマ広場でのヨガ等健康アクティビティの実施	●通常と異なる環境下での活動によりモチベーション維持し、継続的な運動を促す。	4/1～ヨガ、ピラティス、ボクササイズの受付開始 →ヨガ・ピラティス・SUP・カヤックなどのプログラムを提供している。										
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	レストラン＆カフェ・バーの整備	●レストランの飲食メニュー充実	季節ごとに変わる食材を使ったレストランの飲食メニュー充実 →季節ごとにトッピングが変わるパフェをはじめ宿泊者メニューの開発 →10/16に「実りの秋を味わおう！」イベントの実施予定。秋野菜の収穫体験をしたのちにその収穫した野菜を使用したランチをレストランで提供する										
健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		・感染症対策の検討、ランドスケープの検討・施工を実施中										
将来像 4：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
市民参加の場の充実	市民参加	●市民発案のプログラム、地域の方がインストラクター・講師等となったプログラムなど、市民が主体的に提供するプログラムを充実する。	地元講師を招いたワークショップやイベントの企画、地域住民企画のイベント等受け入れ	●地域住民や地元団体の活動や発表の場、機会を創出し、公園利用を促進する。	志賀島の神社と連携した座禅体験の実施。 →実施に向けて神社と打ち合わせ済み。実施日は調整中。 西戸崎のインストラクターによるヨガ体験の実施 →ペアで行うヨガやベビトレヨガをはじめ様々なヨガメニューを展開している										
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	遊びながら学べるアクティビティの導入（アクティブラーニングを意識したプログラム開発他)	●新たなアクティビティ「WAKEPARK」の整備 ●段階的なプログラムの企画開発、実施	新たなアクティビティ「WAKEPARK」の整備に向けての水質調査の実施 →整備に向けて調整をしている。										

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像 1：「オールうみなか」で人とまちに活力を生み出し続ける公園															
多様な主体との連携、一体的な発信	公園の中の連携強化	●本公園の将来像の実現に向けて「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」で各主体の連携を強化し、継続的なフォローアップを行う。	関係主体の協議の場として「国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会」を運営	●協議会を年2回開催するとともに、フォローアップのための園内関係機関の会議を月1回開催	・年2回開催（5/27、11/22） ・園内関係機関の会議は概ね月1回開催										
	公園の中の連携強化	●園内の各主体がそれぞれの強みを活かしたイベントや広報など連携した取組をより一層推進する。	各機関の間での連携したイベント、広報の実施（ドルフィンセレモニー、海の冒険団、カッター教室 等）	●連携メニューの一層の充実	公園内の各機関の企画・広報担当者をメンバーとする「利用促進・サービス向上部会」で具体的な連携の調整等を実施中										
海の中道ならではの多様なレクリエーションの提供	多様なニーズへの対応	●既にファミリー層の利用者が多いC地区はその魅力をより強化、Park-PFI事業が開始されるB地区は大人向けエリアとして整備・管理運営を行うなど、利用状況、特徴等に応じた各エリアの差別化を一層推進し、多様な層へ多様な楽しみ方を提供する。 ●日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアルする。	多様なニーズの受け皿となるよう園内全体のゾーニングの再整理（ファミリー層向けエリア、大人向けエリア、歩行者空間 等）	●2021年度（R3年度）にゾーニングを再整理し、そのゾーニングに基づき計画的に整備											
			日本と世界を繋ぐ、公園内外を繋ぐ、人と人とを繋ぐ「繋がりのエントランス」として海の中道駅口をリニューアル	●2021年度（R3年度）から検討、設計に着手し、2023年度(R5年度)までに再整備完了	R4年度中に仮設の入園ゲートを整備し、海の中道駅口のリニューアルに向けた整備を推進中										
			施設の老朽化、陳腐化等を踏まえた遊具の適切な更新と魅力向上	●2021年度（R3年度）：ちびっこ広場の遊具更新 ●2022年度（R4年度）：ユニバーサルデザイン遊具の更新	2021年度（R3年度）更新済み R4年度中に動物をイメージしたユニバーサルデザイン遊具を整備し、周辺にも小型遊具を整備し、魅力向上を推進中 「モンキーアドベンチャー」11/1オープン										
	海の魅力の発揮	●穏やかな海に面した砂浜が広がるB地区未供用区域を、海と触れ合うことができる海浜レクリエーション空間として整備する。 ●博多湾、玄界灘海浜部での海や砂浜を活用したアクティビティを導入する（SUP、カヤック、ホースライディング等）。	B地区未供用区域の整備（親水空間としての活用）	●2021年度（R3年度）～2025年度（R7年度）：B地区の動植物等の環境調査、計画、設計 ●2026年度（R8年度）以降整備着手、2030年度（R12年度）頃供用	B地区未供用区域の環境調査を実施中（夏季）										
	食の魅力の充実	●地産地消、食育等などのテーマ性のある食の提供、地域と連携したマルシェの開催など海の中道ならではの飲食サービスを充実させる。	園内施設の集約再編にあわせた新たな飲食施設の整備	●2024～2025年度（R6～R7年度）に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな飲食施設を整備	整備に向けた地質調査等実施中										
将来像 2：海の中道の歴史、自然を後世に継承し、活かす公園															
海の中道固有の白砂青松の景観の保全、再生	マツ林育成	●玄界灘側のD地区未供用区域のマツの植栽等を推進する。 ●樹幹注入等の松くい虫対策や植林箇所の密度管理等、マツ林の育成保全の取組を継続して実施する。	D地区の未供用区域の整備	●2030年度（R12年度）頃に供用できるよう、継続的にマツの植栽等を実施	D地区未供用区域のマツ植林に向けた造成を実施中										
			園内の松林を保全・育成するための樹幹注入や薬剤散布等の松くい虫対策、間伐	●園内全域で健全なマツ林を維持・継承	樹幹注入や薬剤散布等の松くい虫対策を継続的に実施										

○ 4つの将来像の取組 フォローアップ様式（主体別）【国土交通省】※令和4年度取組状況（中間報告）

：全主体による取組

将来像の記載内容			個別施策	目標	2022年度取組	計画スケジュール（年度・予定）									
大項目	項目	今後の具体的取組み				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
将来像３：心豊かで健康的なライフスタイルを支える公園															
スポーツ・レクリエーションの場としての機能充実	運動	●既に市民の多様なスポーツの場として親しまれている雁の巣レクリエーションセンターの区域を、福岡市が管理する現行の形を基本として国営公園として供用するとともに、他の公園区域との連携を強化する ●園内の園路の改修等により、サイクリング専用コースやジョギングコースなどの運動ができるコースの設定を行う。	雁の巣レクリエーションセンターの国営公園区域としての供用	●雁の巣レクリエーションセンターと他の区域との連携方策、整備内容や運営方法等の調整	福岡市と継続的に情報共有を進める予定										
	健康増進、ストレス解消に繋がる場としての機能充実	健康増進	●海浜部を活用したビーチラン、ビーチヨガなど、海の中道の自然が満喫できる魅力的な健康プログラムを実施する。 ●テニスコートやサンシャインプールなど、多くの既存施設の特性を生かした健康プログラムを充実させる。 ●志賀島- 海の中道サイクルツーリズム協議会や福岡県・福岡市の健康や学習に関する施策と連携した取組を推進する。	健康づくりのためのサイクリング専用コースの設置	●2023年度(R5年度)までにサイクリングコースを再編・改修して専用コースを整備	・サイクリングコースの改修に向けた設計を実施中 ・専用コースの整備や駐輪場、わかりやすい路面標示を継続的に実施中									
	癒やし	●感染症対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できる空間を提供する。 ●花を愛でながら食事が楽しめるカフェの設置や、一人一花運動との連携などにより、花や緑が豊かな環境の中でリラックスでき、ストレスを解消できる場づくりをより一層推進する。	新しい生活様式の喚起、三密を防ぐハード・ソフトの対応		・各機関と連携し、感染症対策の徹底を図る ・海の中道駅口のリニューアルにあわせた花修景の強化と飲食物販施設の設置に向けた整備を推進										
将来像４：多様な人の多様な学び、活躍を支える公園															
学びの場	学びの充実	●様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かし、新しい働き方に対応した企業研修の場等としての公園利用を促進する。 ●食やアートなど、大人の関心の高い学習プログラムを充実する。	様々な施設、豊かな自然環境という強みを活かした企業研修の場としての公園利用の推進	●2021、2022年度（R3、4年度）に公園を活用した企業研修のメニュー（案）の作成、実現性の検討、試行を実施。	研修メニュー（案）の実現性について、園内関係者と精査を行い、福岡市・観光コンベンションビューローと連携し、プランを作成し、ワーケーションパスポート（仮称）を7月から実施中。										
ユニバーサルデザインの考えに基づく整備・管理運営	ユニバーサルデザイン	●ユニバーサルデザインによる園路や施設の整備、改修、本公園の災害時の避難場所としての機能を高めるための施設の耐震化を推進する。 ●障がいの有無にかかわらず、公園の楽しさを享受できるプログラムや施設の充実を図る。	ユニバーサルデザインによる施設整備、改修、避難地としての機能を高める施設の耐震化	●施設更新にあわせた園路、トイレ等のユニバーサルデザイン化、耐震化の推進、充実	・園路等の改修を実施中 ・トイレのユニバーサルデザイン化を推進 ・サインのユニバーサルデザイン化を推進中										
	園内移動	●公園全体の交通ネットワークの再整理を行った上で、サイクリングコースやバスルートの再編、新たな休憩・交通の拠点の整備など必要な対策を実施する。 ●広い公園をスムーズに、楽しく移動できる新たなモビリティの導入などにより、園内の回遊性を高める。	公園全体の交通ネットワークの将来形の検討とその検討結果に基づく園路等の改修、再整備 C地区の利用が集中している場所にスクラップ＆ビルドにより新たな交通・休憩の拠点を整備	●2021年度(R3年度)：全体計画の整理 ●2022年度(R4年度)以降：優先順位に応じて順次改修 ●2024～2025年度(R6～R7年度)に園内のレストハウス等を集約再編し、新たな交通・休憩の拠点を整備	園内交通の見直しに向けた設計を実施中 園路改修を実施 施設の集約再編、園内交通の見直しに向けた設計・調査を実施 R4年度中に西戸崎レストハウスを取り壊し予定										